

# スタジアム整備のあり方検討委員会

## 第3回資料

秋田県観光文化スポーツ部  
スポーツ振興課

平成29年11月20日

# 1 第2回検討委員会までのまとめ

## 第1回検討委員会の要旨

- 第1回目の検討委員会では、スタジアムの整備はにぎわいの創出や地域活性化にもつながることから、全体的には整備することが望ましいとする意見が多かった。
- そのため、第2回目以降の検討委員会では、新スタジアムの建設を前提に議論を進めていくことを確認した。
- また、今後議論を進めるにあたり、コンセプトを明確にすべきといった意見が出された。

## 第2回検討委員会の要旨

- 第1回検討委員会での議論を踏まえ、新スタジアムの建設を前提に議論を進めていくことを、あらためて確認した。
- コンセプトの方向性については、概ね承認をいただき、今後、2月議会の中間報告に向け、集約できる部分や追記するものなど、事務局が調整していくこととした。

### ～スタジアムを核とした秋田創生～

- コンセプト1 地域に活力をもたらすスタジアム  
— 飲食、物販、宿泊等、地域振興に貢献 —
- コンセプト2 にぎわいを生むスタジアム  
— 試合以外にも様々なイベントに活用 —
- コンセプト3 多世代が集うスタジアム  
— 子どもから高齢者まで「する」「みる」「ささえる」を体感 —
- コンセプト4 利用満足度の高いスタジアム  
— 臨場感や躍動感を体感 —
- コンセプト5 オリジナリティあふれるスタジアム  
— 健康寿命日本一に貢献 —

## 事前調査及び第2回検討委員会での主な意見

### 規模

- J2基準の10,000人  
ただし、J1スペックに増設可能な設計含む
- ドーム型(開閉式含む)
- BBの観客動員数・収益構造をベースとして、自ずから適正規模が定まるはず
- マーケットサウンディング  
(設計段階から想定される使用者の意見を反映)

### 付加する機能

- ホテル、温泉、クリニック、スポーツジム、飲食店、大型スーパー、コンビニ、教育機関、福祉施設、図書館、会議室、ファンショップ
- 秋田ノーザンハピネッツアリーナ
- 北都銀行バドミントン部の専用体育館
- ランニングコース
- コンベンション機能
- バスケットもできる複合型

## 事業主体

- 民間コンセッション型
  - ・施設の所有権→公共
  - ・施設の運営権→民間事業者
- 行政
- スピード感を重視するとすれば民間
- 民間が関わっていく視点は重要

## 財源

- 募金、ファンド、ふるさと納税、寄附
- 国の補助
- 行政(一財及び地方債)
- 関係市町村からの負担金
- 市や県の財源だけでは厳しいのでは
- 国の支援は可能か
- 将来世代への負担先送りの結論と  
ならないようできる限りシビアな数字  
をベースにすべき

## 2 建設場所、運営主体について

### 1 機能をどうするか

第2回検討委員会で検討

### 1 規模・仕様

### 2 付加機能

### 2 事業主体・財源をどうするか

第2回検討委員会で検討

### 1 事業主体

### 2 国庫補助、助成

### 3 募金、寄附金

### 4 その他

### 3 建設場所をどうするか

### 1 市街地

### 2 郊外

### 3 準郊外

### 4 運営主体をどうするか

### 1 公共

### 2 民間

## 建設場所

### 望ましい立地の視点

- 視点① 多くの県民が集まりやすい地域
- 視点② 県外からの観客もアクセスしやすい地域
- 視点③ スタジアム整備の効果が発揮されやすい地域

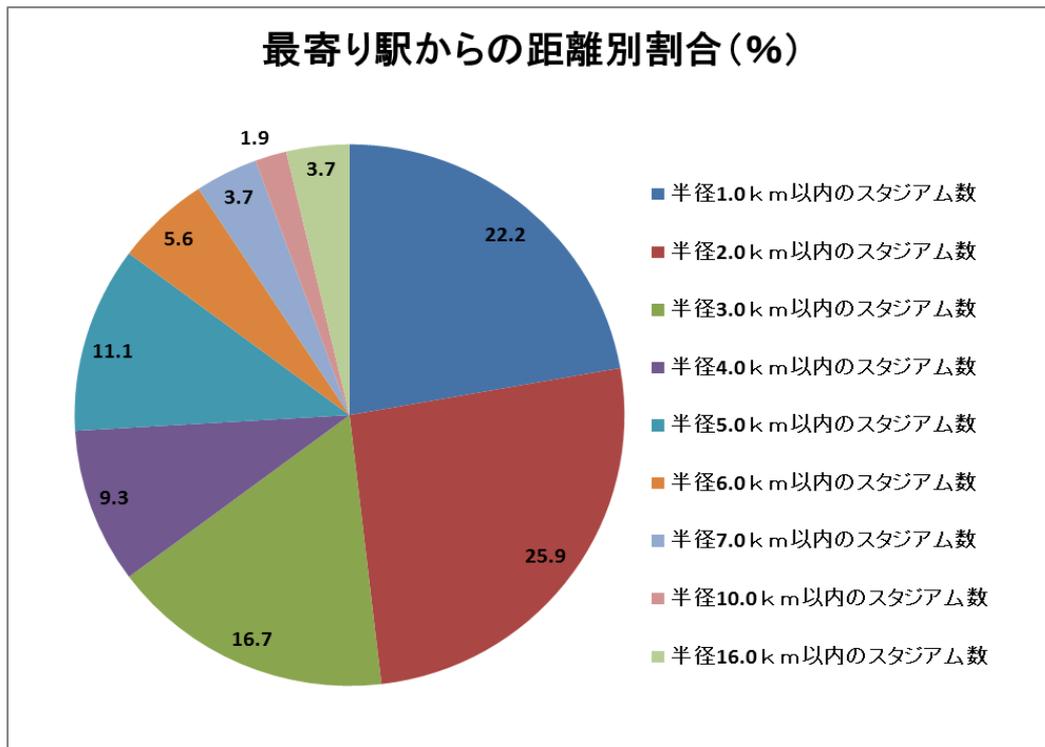
### 事前調査の意見

- 秋田市 市街地
- 秋田市 市街地以外
- 秋山市内
- 問わない
- 駅や空港から近い場所



## J1からJ3までの全54クラブの割合 (最寄り駅から)

「最寄り駅」からスタジアムまでの距離集計表



区分	スタジアム数	割合 (%)
半径1.0km以内のスタジアム数	12	22.2
半径2.0km以内のスタジアム数	14	25.9
半径3.0km以内のスタジアム数	9	16.7
半径4.0km以内のスタジアム数	5	9.3
半径5.0km以内のスタジアム数	6	11.1
半径6.0km以内のスタジアム数	3	5.6
半径7.0km以内のスタジアム数	2	3.7
半径10.0km以内のスタジアム数	1	1.9
半径16.0km以内のスタジアム数	2	3.7
計	54	100.0

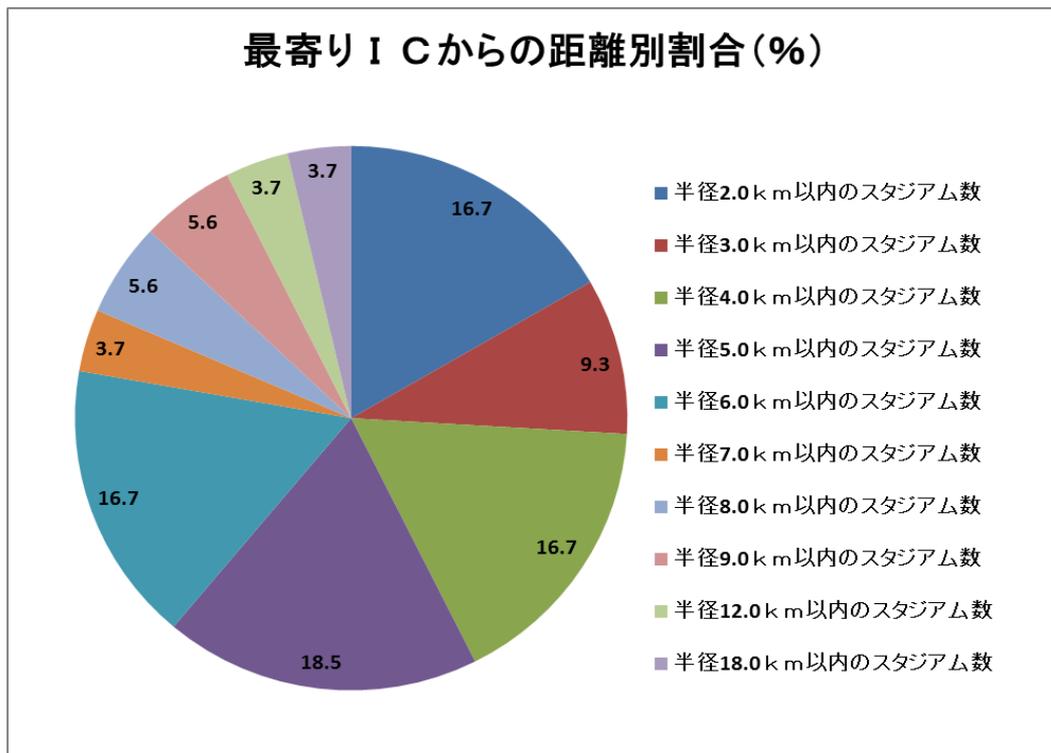
○最寄り駅からの距離別で最も多いのは、半径2.0km以内で、全体の25.9%

○2番目に多いのは、半径1.0km以内の22.2%

○半径2.0km以内が、全体の48.1%を占めている

## J1からJ3までの全54クラブの割合(最寄りICから)

「最寄りIC」からスタジアムまでの距離集計表



区分	スタジアム数	割合(%)
半径2.0km以内のスタジアム数	9	16.7
半径3.0km以内のスタジアム数	5	9.3
半径4.0km以内のスタジアム数	9	16.7
半径5.0km以内のスタジアム数	10	18.5
半径6.0km以内のスタジアム数	9	16.7
半径7.0km以内のスタジアム数	2	3.7
半径8.0km以内のスタジアム数	3	5.6
半径9.0km以内のスタジアム数	3	5.6
半径12.0km以内のスタジアム数	2	3.7
半径18.0km以内のスタジアム数	2	3.7
計	54	100.0

○最寄りICからの距離別で最も多いのは、半径5.0km以内で、全体の18.5%

○2番目に多いのは、半径1.0km以内、同4.0km以内及び同6.0km以内の16.7%

○半径6.0km以内が、全体の77.9%を占めている

## 運営主体

### 運営主体の視点

- 視点① 収益を確保していくための方策が図られるか
- 視点② フィールドの質を高く維持できるか
- 視点③ スタジアムの効果を最大限に発揮できるノウハウを有しているか

### 事前調査の意見

- 民間企業への指定管理
- クラブチームの運営会社による指定管理
- NPO団体
- 施設運営会社を設立
- 株式会社
- 指定管理は財政的に厳しいのでは
- 実現可能なプラン作成は必須

## 整備手法の基本的な考え方

整備する施設の特性に合わせて、適正な手法を選択することが重要

	資金	設計	建設	運営	事業概要
公設公営	行政	行政	行政	行政	従来の公共サービス
公設民営	行政	行政	行政	民間	指定管理者制度、管理運営委託
	行政	民間	民間	民間	DBO
民設民営	行政・民間	民間	民間	民間	PFI

} PPP

※一般的な傾向を示したものであり、事業毎に諸条件は異なる。

### PPP(官民連携手法)

これまでの行政主体による公共サービスを誰が最も有効的で効率的なサービスの担い手になり得るのかという観点から、行政と多様な構成主体(市民、自治会、各種団体、NPO、企業、大学など)との連携により提供していく考え方であり、民間委託、指定管理者制度、DBO、PFI、民営化などの事業手法の総称。

### DBO(Design Build Operation)

公共が資金調達、施設の所有権を有したまま、民間事業者が設計、建設、維持管理及び運営業務を一体的に委ねる。

### PFI(Private Finance Initiative)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)に基づき、実施される。

### 3 第4回目 of 検討委員会の予定

○第3回検討委員会までのまとめ

○県2月議会で中間報告する素案の検討

など